

「羽包み(はくくみ)」

第一号 (不定期発行)

平成20年8月1日

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪1-12-17

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

電話・ファクス 0467-58-6260

〔ご送金は ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277へお願いします〕

ご挨拶とお礼

ホーム長 前川礼彦

残暑お見舞い申し上げます。早いもので、酷暑が続く8月となり、当ホームも開設してから2回目の夏を迎えました。

家庭の事情で若くして社会的自立を強いられる少年達のために、何か力になれないかと自立援助ホームの世界に飛び込み十数年、出会った少年たちは、何も後ろ盾がなく、寂しく孤独に生きることに葛藤しながらも、それでも頑張っ生きていこうとしていました。この少年たちを支え、彼らの心の叫びを誰かが社会へ代弁しなければと、私は自身の生き方として自立援助ホーム「湘南つばさの家」を開設させて頂きました。

しかし想いとは裏腹にホームを運営していくことは容易なことではありませんでした。限られた資金の中、家財道具、日用品は一から揃えていかなければならず、夫婦住み込みにて今まで会ったこともない少年たちとの暮らしは喜怒哀楽の連続でした。限りない愛情の要求、その反動としての怒りの表出。本来家族から与えられたかった欲求を、身近な大人である私たちに試しながら求めてくる毎日。「もうだめだ、この子とはやっていけない」と綺麗事では済まされない感情を抱きつつも、ふとした時に見せる彼らの優しさや、眠い目をこすって仕事に出勤する姿にこちらも励まされながら、一日一日を積み重ねてきました。

そんなホームの様子を知り、心ある方々がホームを応援して下さり、沢山の方に広報して下さり、支援の輪が広がってまいりました。お陰様で沢山の食料品、日用品、金銭のご寄付をいただき、つばさの家は何とか運営を維持させて頂いております。この紙面を借りて改めて厚く御礼申し上げます。皆さまのご支援がなければホームを維持することはできなかったかもしれません。何より皆さまの温かいお気持ちが私たちの最大の励みになり、そしてホームの少年たちの大きな支えになりました。

彼らにはこう伝えます。「世の中にはこうして自分のことだけでなく、人のために動いている人たちがこんなにも沢山いる。世の中まだまだ捨てたものじゃないんだ」と。

10年20年先の未来を担う少年たち。事情があつて親が支えられなければ、社会の大人が支えれば良い。支えられた少年たちが、いつしか人を支える心優しい社会人になれるようお願いを込めながらホームを運営しています。

今後ともどうか湘南つばさの家のご支援を宜しくお願い申し上げます。